シニア AI ネットワーク　ガバナンス憲章

〜誰のものでもなく、みんなのものとして〜

2026 年 7 月　久留米発　ver.1.1

この憲章の目的

30 年前、私が立ち上げた「シニアネット」が全国に広がったとき、組織の硬直化や「オラが大将」問題で多くの人が離れていきました。

同じ過ちを繰り返さないために、私たちは**最初から「管理者を置かない分散型ネットワーク」**として始めます。

この憲章は、縛るためのルールではなく、**みんなが安心して自由に活動するための大切な約束**です。

5 つの基本原則

原則 1　誰でも参加できる

審査も承認もありません。

note をフォローし、LINE オープンチャットに参加して「○○市で始めます」と宣言するだけで、どなたでも参加できます。

原則 2　管理者を置かない

代表・理事・中央組織は作りません。

参加者全員で見守り、みんなで支えるネットワークにします。

原則 3　すべてオープンにする

プロトコル（教材）は無料で公開します。

活動内容やお金の使い方も原則としてオープンにし、透明性を保ちます。

原則４　名称はみんなの共有財産

「シニア AI ネットワーク」は誰でも自由に使えます。

ただし商標登録や独占的な囲い込みは禁止します。

原則５　創設者に依存しない

創設者がいなくなっても、参加者みんなの手で続き、育っていく仕組みにします。

守っていただきたい５つの約束

約束１　非営利の原則

シニア参加者からは原則無料とします。

実費（会場費・印刷代など）は可。自治体・企業からの支援は透明性を保った上で受けられます。

約束２　透明性の原則

活動内容や受け取った資金の使い道は、note などでオープンにします。

約束３　名称の原則

名称を使う場合は「久留米発祥であること」を明記することをおすすめします。

独占や営利目的の囲い込みは禁止します。

約束４　改変・継承の原則

プロトコルは自由に改変して構いません。

改変版もオープンユースで公開し、改善点をネットワークに還元することを推奨します。

約束５　倫理の原則

- シニアを傷つける使い方はしません
- 個人情報を守ります
- AI の限界を正直に伝えます
- 認知症など配慮が必要な方への対応は慎重に行います

参加のしかた（5ステップ）

1. 公式 note をフォローする
2. LINE オープンチャットに参加する
3. 「○○（地域名）で始めます」とコメントする
4. プロトコルを無料でダウンロードする
5. 自分の地域で実践し、気づいたことを共有する

この憲章は生きています

これは固定されたルールではなく、現場の声とともに参加者みんなで育てていく「約束」です。

改訂提案はいつでも大歓迎です。

古賀直樹

シニア AI ネットワーク　呼びかけ人

2026 年 7 月　久留米にて
